



さゆりっ子

保護者アンケートから

全国的に園児の置き去り（バスの）虐待などが取り上げられていますが、さゆり幼稚園（信学会）では、どのように対応、対策（研修など）をしていますか？



新年早々、信濃毎日新聞に連載が始まった「ふつうって 何ですか？—発達障害と社会」の記事からいろいろなことを考えさせられました。

虐待を受けたことにより傷つけられる子どもたちのつらく、切ない思いがひしひしと伝わってきました。と同時に「受け入れる施設側」はなぜそのような行為をしたのか、とても疑問に感じました。

このような記事が掲載されたり、報道で同様なニュースが流れたりすると、保護者の皆様が当園の取り組みを知りたくなるのも当然の流れであると考え、鈴の音会、1月の誕生会に引き続き、園長だよりでもお話ししようと考えました。

ただ、特に虐待への対応は保護者の皆さんとの信頼関係に頼るところがとても大きいと感じます。これで良しとも決して思っていないので、今後も大事なこととして継続して話題にしていけたらありがたいと思っています。

- <降園バスへの対応>
- ・コース別乗車園児名簿によるチェック
- ・乗車時のダブルチェック
- ・降車時の保護者への確実な引き渡し
- ・**帰園時の車内確認（ダブルチェック）登園時**
- ・**運行後確認表による最終チェック**
- <バス乗務研修（年度当初）>
- 「バス乗務の心得」読み合わせ
- バス試乗
- <安全装置>
- 今後、設置の予定

バスの対応は、園児を乗せるとき、園に戻ってきた時には必ず「二人体制で確認する」が徹底されています。臨時に来られた運転手さんにも最終確認をきちんと行っていただけています。

11月からは午前、午後の運行終了後、「運行後確認表」により園バスの運行が安全に行えたかを確認しています。また、年度当初の研修によりどの職員が乗車しても安全確認は確実に実施で

きるようになっていきます。

今後「安全装置」の設置も予定されていますが、最後は人の目視が一番大切であることをこれからも徹底していきたいと思っています。

虐待については、10月に「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を実施しました。(保育園、幼稚園等にかかわるようになってから現在に至るまでを振り返りました。)

カテゴリー
(1) 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり
(2) 物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ
(3) 罰を与える・乱暴なかかわり
(4) 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり
(5) 差別的なかかわり

厳しく評価をした結果でしたが、概ね良好であると思えました。(2)については「○○できないと…になっちゃうからね。」とか「もう○○なんだからできるでしょ。」と言ってしまいがちになります。子どもは「だって、□□なんだもん。」と心の

中でつぶやいているかも知れません。

子どもとのかかわりを考えると、当たり前のことですが、一人ひとりちがう。同じことが通じない。だからその子に応じたかかわり方を探っていくことが大切になります。そのために園では「子ども理解」に力を入れています。「子ども理解」に軸足を置いた保育が、これまでもいろいろな場でお話してきましたが、「主体性を大切にする保育」です。

主体性 → その子のかかわる姿

その子のかかわる姿を丁寧にとらえることで

- ・ どのようにかかわっているのかな。
- ・ どんな気持ちでいるのかな。
- ・ 今の支援のしかたでいいのかな。と一人ひとりの姿に寄り添って考えるようにしています。

園では「子ども理解研修」として写真・動画による観察、マインドマップ作りを通して複数の職員で話し合い、その子のとらえを広げたり、より多くのかかわり方を知ったりする機会を設けてきています。また「外部講師による研修」では倉田 洸幸(ひろゆき)先生(千曲市教育相談員 心理士)から専門的な知識、実際の手立てを学んでいます。そして先生方のカウンセラーにもなっています。



また、毎週の学年会でも子どもの様子を話題にして、その対応を相談し合うことは先生方にとっては一番の心の拠り所であり、いつでも困ったときは相談し合う、助け合う雰囲気を職場につくってきています。

「たくさんの活動、行事を計画してもらい、ありがとうございます。先生方の負担(お仕事)も多いと思うので、行事を減らしてもらったり、内容を見直して、これからも先生方が心も体も元気に負担なく働いていただける園であってほしいと思っています。」

そして保護者からいただいたありがたい応援歌のように先生方は、心身ともに「ゆとり」をもって保育に当たれるように勤務改善を今後も進めていくことも重要であると考えています。

冒頭にも書きましたが、各ご家庭でもお子様の様子で気になることがありましたら、園に相談いただけるとありがたいです。

家庭と園が「同じ方向を向いて」育児に当たる大事にしていきたいです。